

ぎかいだより

題字 / 国府小学校6年生 なかこ あきな 中子 陽菜さん
国府小学校6年生の皆さんから応募いただきました。

Contents

- P 2 議会の新体制
- P 5 5月臨時会の報告
- P 6 6月定例会の報告
- P 9 一般質問
- P 13 常任委員会等の紹介
- P 15 新火葬場建設事業
- P 16 議会トピック

№ 52
2023
8.1
SUMMER





議長抱負 水門義昭

高山市議会は制定した議会基本条例に則り「議会のあるべき姿」「議員としてのあるべき姿」を全議員が一丸となって進めてきました。

今年度は議会活動、委員会活動をさらに活発に推進していきます。

特に令和5年度は高山市のまちづくりの根幹である第九次総合計画の策定の準備や自治基本条例（仮称）の制定など議会への協議が組み込まれています。更に各常任委員会では市民の声をしっかり市政に反映するために、調査項目を掲げて取り組み、執行部への提言をまとめ上げる活動を進めています。

そして前年度全議員で活動した議員定数の議論から、議会のあるべき姿への課題であり、「市民に寄り添った活動」として掲げた、議会機能の維持・向上のための今後の取り組みは以下のとおりであります。

- ① 議会の存在意義や役割についての市民理解の促進
- ② 民意吸収機能の向上
- ③ 議会活動の水準の維持・向上
- ④ 複雑化・多様化する行政課題への的確な対応
- ⑤ 支所地域の課題の把握と解決策の提起
- ⑥ 女性や若者の政治参加の促進

この6項目に対して具体的な取り組みを推進します。

その中の一つとして、女性や若者の政治参加の促進については、これまでに行ってきた市民との意見交換会を工夫し、市民に寄り添った町内会組織という、出来るだけ市民に直結した地域を選出して意見をお伺いできる機会を作りたいと思います。その中で、若い人たちや女性の方々のご意見をお聞きし、市議会や政治に興味を持っていただくことを進められたらと強く感じています。

今年度は新たな議員が就任されました。これまで以上に「チーム議会」として高山市議会が市民にとって頼りがいのある機関となるように力を注いでいきますので、市民の皆様には議会へのご支援をお願いいたします。



副議長抱負 榎 隆司

議員として3期目の最初の年に、高山市議会第89代副議長の大役を拝命し身の引き締まる思いです。副議長の役割は議長の補佐として、議会運営のサポート役であり助言者でもあり、ときには議長代理として公務を担うこともある重要な立場であり、その責務は大変重いものと感じています。新型コロナウイルス感染症による閉塞感からようやく解放の兆しが出、通常の生活が戻り始め、市内にもインバウンドを含め多くの観光客の方々が来高され、商店街等に活気が戻ってきました。しかし、油断できない状況でもあります。だからこそ、今後のアフターコロナを見据えしっかりした議論を実行する必要があります。市議会の基本条例に議会基本理念があります。「①市民の代表機関として、市民と情報を共有し、市民の意見を市政に反映させる。②二元代表制の一翼を担う議事機関として、市長その他の執行機関の執行を監視及び評価し、政策提言を行うとともに政策立案に努める。」とあります。今年度から広報広聴委員会を、議会活動等をお伝えする広報部会と市民の意見をしっかり受け止める広聴部会に分け、全議員が所属し活動することになりました。市民の意見等をしっかり把握し行政からの議案の議論、議員調査活動からの提言等をしっかり実行し、「開かれた議会」「責任ある議会」の構築に向け精進してまいります。皆様には引き続き御指導、御鞭撻をどうかよろしくお願いたします。

あたらしい24人の議員を紹介!!



- まるやまじゅんぺい
 ①丸山純平 (30)
 ②中山町
 ③1回
 ④みんなで未来をつくる会
 ⑤カラオケ・ボードゲーム



- なかむらたくろう
 ①中村匠郎 (39)
 ②八軒町
 ③1回
 ④新政たかやま
 ⑤行けない旅行の計画



- とだりゅうへい
 ①戸田柳平 (46)
 ②新宮町
 ③1回
 ④新政たかやま
 ⑤料理・音楽



- ますだだいすけ
 ①益田大輔 (48)
 ②初田町
 ③1回
 ④みんなで未来をつくる会
 ⑤演劇・ミュージカル・哲学



- さかしたみちよ
 ①坂下美千代 (63)
 ②久々野町
 ③1回
 ④日本共産党高山市議団
 ⑤読書



- ひらとよしふみ
 ①平戸芳文 (64)
 ②荘川町
 ③1回
 ④新政たかやま
 ⑤スポーツ観戦



- かたのあきこ
 ①片野晶子 (53)
 ②下二之町
 ③2回
 ④無会派
 ⑤読書・片付け



- みずのちえこ
 ①水野千恵子 (60)
 ②西町
 ③2回
 ④新政たかやま
 ⑤ガーデニング・長唄三味線



- いしはらまさひろ
 ①石原正裕 (48)
 ②朝日町
 ③2回
 ④新政たかやま
 ⑤ゴルフ・釣り



- にしもとやすてる
 ①西本泰輝 (63)
 ②久々野町
 ③2回
 ④新政たかやま
 ⑤油絵・散歩・スキー



- いとうひさみち
 ①伊東寿充 (49)
 ②下一之町
 ③3回
 ④新政たかやま
 ⑤音楽・料理・DIY



- にしだみのる
 ①西田稔 (65)
 ②江名子町
 ③3回
 ④新政たかやま
 ⑤読書・書道・陸上

①氏名(8/1年齢) ②居住地 ③当選回数 ④会派名 ⑤趣味・特技など



ぬまつみつお
①沼津光夫 (66)
②丹生川町
③ 3回
④新政たかやま
⑤木工・野菜づくり・釣り



えのき たかし
①榎隆司 (70)
②山田町
③ 3回
④新政たかやま
⑤竹ランプづくり・木版画



やまこしけいいち
①山腰恵一 (60)
②江名子町
③ 4回
④高山市議会公明党
⑤トレッキング・音楽鑑賞



わたなべじんいち
①渡辺甚一 (66)
②三福寺町
③ 4回
④新政たかやま
⑤庭いじり・日曜大工



いわがきかずひこ
①岩垣和彦 (60)
②国府町
③ 5回
④創政・改革クラブ
⑤自然とたわむれること



なかおさひろゆき
①中箴博之 (63)
②緑ヶ丘町
③ 5回
④高山市議会公明党
⑤同級生チームの野球



くらたひろし
①倉田博之 (68)
②千島町
③ 5回
④創政・改革クラブ
⑤映画観賞・映画館で過ごす時



まつやまあつお
①松山篤夫 (76)
②国府町
③ 5回
④未来
⑤読書、「知の旅は終わらない」



じょうしまきよこ
①上嶋希代子 (76)
②岡本町
③ 5回
④日本共産党高山市議団
⑤読書



くるまどあきら
①車戸明良 (72)
②丹生川町
③ 6回
④未来
⑤読書・スポーツ(陸上)観戦



すいもんよしあき
①水門義昭 (64)
②冬頭町
③ 6回
④無会派 (議長)
⑤早起き



こいどまこと
①小井戸真人 (59)
②天性寺町
③ 7回
④無会派
⑤激辛パウダーづくり



高山市議会議員 役員・委員会等所属一覧

<p>議会運営委員会</p> <p>委員長 倉石丸</p> <p>副委員長 中野水</p> <p>上嶋山 希代子</p> <p>松山 希代子</p> <p>中嶋 希代子</p> <p>伊東 希代子</p> <p>水野 希代子</p> <p>丸山 希代子</p> <p>石原 希代子</p> <p>倉田 希代子</p>	<p>産業建設委員会</p> <p>委員長 西本</p> <p>副委員長 中野純</p> <p>水門 義昭</p> <p>松山 義昭</p> <p>中嶋 義昭</p> <p>片野 義昭</p> <p>丸山 義昭</p> <p>西本 義昭</p> <p>渡辺 義昭</p>	<p>福祉文教委員会</p> <p>委員長 沼津</p> <p>副委員長 山腰</p> <p>小倉 真一</p> <p>山腰 真一</p> <p>榎下 真一</p> <p>坂田 真一</p> <p>益野 真一</p> <p>水野 真一</p> <p>沼津 真一</p>	<p>総務環境委員会</p> <p>委員長 西田</p> <p>副委員長 石原</p> <p>上嶋 希代子</p> <p>嶋垣 希代子</p> <p>伊東 希代子</p> <p>石原 希代子</p> <p>平野 希代子</p> <p>戸田 希代子</p> <p>西田 希代子</p> <p>車田 希代子</p>	<p>監査委員</p> <p>委員長 水門</p> <p>副委員長 榎隆</p> <p>伊東 義昭</p> <p>嶋垣 義昭</p> <p>東 義昭</p> <p>水門 義昭</p> <p>榎隆 義昭</p>	<p>副議長</p> <p>議長 水門</p> <p>副議長 義昭</p> <p>議長 義昭</p> <p>副議長 水門</p>
<p>各会派代表者</p> <p>新政たかやま</p> <p>創政・改革クラブ</p> <p>未来</p> <p>高山市議会公明党</p> <p>日本共産党高山市議団</p> <p>みんなの未来をつくる会</p> <p>伊東 充</p> <p>倉田 博之</p> <p>車田 明良</p> <p>中嶋 博之</p> <p>上嶋 希代子</p> <p>益田 大輔</p>	<p>広報広聴委員会</p> <p>委員長 水門</p> <p>副委員長 榎隆</p> <p>議員全員 義昭</p>	<p>高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会</p> <p>委員長 小井戸</p> <p>副委員長 丸山</p> <p>委員 中野純、山腰、水野、伊東、岩田、倉田、水野、伊東、岩田、倉田</p>	<p>産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会</p> <p>委員長 中嶋</p> <p>副委員長 平野</p> <p>委員 益野、石原、坂田、沼津、西田、石原、沼津、西田</p>	<p>自治基本条例等及び総合計画に関する特別委員会</p> <p>委員長 水門</p> <p>副委員長 榎隆</p> <p>議員全員 義昭</p>	

第2回臨時会 議案審議

5月11日に開催した臨時会では、議長、副議長の選挙、議選監査委員や、議会運営委員会及び常任委員会の委員と正副委員長の選任等を行うとともに、物価高騰対策事業として電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金や子育て世帯生活支援特別給付金の給付に係る補正予算など2件の専決処分報告がありました。また、国の子ども・子育て支援法施行規則の改正に伴う高山市認可外保育施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正など4件の条例改正、新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施による補正予算など2件の予算案件、スクールバス及び高規格救急自動車を購入する2件の事件案件、監査委員及び固定資産評価員を選任する人事案件の10議案について原案どおり決定・同意しました。

主な質疑

問 電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金及び子育て世帯生活支援特別給付金の申請に対するサポートは。

答 既に対象となっている世帯は申請手続きが不要であるが、生活が急変して対象となる場合は申請手続きが必要であり、制度についてしっかり周知していく。

問 税条例改正の固定資産税関係で、先端設備導入計画の妥当性の確認方法は。

答 認定支援機関である商工会議所、商工会、税理士事務所などの意見を付して申請してもらい、妥当性を確認している。

5月臨時会所信表明会

高山市議会では、市民に開かれた議会を目指すため、正副議長に立候補しようとする者は、議会運営における自らの考え、市民の福祉の増進を図る取組、議会の抱える課題の解決に向けた取組方針などを全議員に示す所信表明会を行っています。今回は、議長候補の水門義昭議員、副議長候補の榎隆司議員が所信表明しました。この様子はCATV、インターネットで生中継しました。議会では、正副議長候補者が自らの考えを議員に示すだけでなく、中継等を通じて広く市民の皆様にお示しすることで、より議会に関心を持っていただき、議会活動をご理解いただく機会の一つにしたいと考えています。

市議会ホームページ
映像中継から
所信表明会へ



6月定例会 議案審査

総務環境委員会

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更に伴う条例改正

問 特定新型インフルエンザ等対策に係る防疫等作業手当の金額を一日当たり 3,000円から 1,500円にすることへの妥当性は。

答 手当の額については国家公務員の取り扱いに準じて同額の設定をしており、国においては様々な特殊勤務手当の中での整合性や公正性などを勘案して手当の設定がされている。本市においても同額の設定とすることで近隣市との均衡や妥当性が図られると考えている。

森林環境税の新設等に伴う条例改正

問 新設される森林環境税とは。また森林環境譲与税との関係は。

答 森林環境税は平成31年度税制改正において国税として導入が決定しているもので、令和6年度から賦課徴収が始まる。森林環境譲与税は、市町村が徴収して国に納付した森林環境税を国が一定のルールに基づき森林環境譲与税として県や市町村に交付する。

福祉文教委員会

一之宮保健センター廃止に伴う条例改正

問 保健センターで行ってきた相談業務などを支所で行うことに対する市民への影響は。

答 支所へ相談に行くことで不便になるという声はない。これまでは支所から保健センターへ移動し相談を受けていたが、これからは支所内での移動で完結する。



一之宮保健センターの現地調査

産業建設委員会

荘川町の市道路線(牛丸そふ谷線)の変更

問 今後の公共施設の管理を考えると、施設を減らしていかなければならないと思うが、市内にある944本の橋梁をどのように管理し、どのような形で地元を理解してもらう話し合いをしていくかが大事かと感じる。今後どのように進めていくのか。

答 そふ谷つり橋の廃止は地元にご理解いただくまでに8年かかったが、今後、市道の廃止等については関係者の方との交渉と並行して、基準の明確化も考えながら進めていく。橋梁は、利用状況や判定状況を踏まえて優先順位をつけ、効率的・計画的に維持管理していきたい。



そふ谷つり橋の現地調査

6月定例会補正予算審査

一般会計補正予算

◆ 令和5年度高山市一般会計補正予算 第2号

約2億7千7百万円

- ・第2子以降出産祝金や高等学校就学準備金等支援金の給付
- ・物価高騰対策として粗飼料価格高騰対策事業補助金の交付
- ・不登校特例教室の開設に向けた整備
- ・部活動の地域移行に向けた地域指導者への謝礼金など

・主な質疑

問 第2子以降出産祝金に所得制限は。

答 所得制限はない。

問 高等学校就学準備等支援金は、卒業後の進路に関わらず補助対象か。

答 中学3年生在学中に補助金が出るのですべてのお子さんが対象となる。

問 不登校特例教室を一之宮保健センターに設置する意図は。

答 一之宮の地域に設置するのは教育研究所や学校、であい塾があり、地域の理解があるため。

問 部活動の地域移行に関して指導者一人当たり報酬金1時間1,000円となっているが、それ以外の規定はあるのか。

答 「岐阜県中学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」に基づいて活動ができるということを条件にしている。

◆ 令和5年度高山市一般会計補正予算 第3号

約7千万円

- ・建築工事に係る諸経費率の見直しなどによる施設整備工事費の増額
- ・新火葬場建設に向けた検討を進めるための測量等委託料 など

・質疑

問 荘川義務教育学校等への要望はどのように予算に反映されたのか。

答 雪降ろしや雪囲いの軽減の要望をいただき、構造と屋根形状を見直し、断熱対策を強化した。

特別会計等補正予算

◆ 令和5年度高山市地方卸売市場事業特別会計補正予算 第1号

約2百万円

- ・施設整備の設計等委託料

議員発議

《特別委員会の設置3件》

発議第6号 自治基本条例等及び総合計画に関する特別委員会の設置

- 地方分権の推進により、市政運営にそのまちとしての「意思」が問われる時代となった。高山市議会は、自治体の憲法である「自治基本条例(仮称)」の制定を長年、市に働きかけてきたが、ようやく実現に向かう運びとなった。
- 総合計画とは、まちの将来像とその到達手法を示し住民全体で共有する行政の最上位計画。現行の「八次計画」に代わり令和7年度から始まる10年間の「九次計画」について、現在、市の検討が始まっている。
- =議会として責任ある決定を行うため、特別委員会を設置し調査研究を進めるもの。

発議第7号 産業廃棄物最終処分場計画調査特別委員会の設置

- 全国からの産業廃棄物を荘川町六厩地区に露天埋立てする施設の建設計画が富山県の民間業者より岐阜県に申請され、県が許可可について審査を進めている。
- =まちや住民への影響および全国事例などにつき、前期に引き続き特別委員会を設置し調査研究を進めるもの。

発議第8号 高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会の設置

- 平成29年供用開始とされていた「高山市総合交流センター(仮称)」を含む高山駅西側周辺地域の再開発計画は、長年凍結状態にあったが、近年具体的に動き出す意思を市が表明した。
- =計画の目的や市民の思いの達成・反映のため、特別委員会を設置し調査研究を進めるもの。

高山厚生病院の存続へ市の積極的な働きかけを求める請願

福祉文教委員会では、「高山厚生病院の存続へ市の積極的な働きかけを求める請願」について、請願者の川津聡氏を参考人として招致し、願意を確認するとともに、高山厚生病院への現地調査を実施したうえで紹介議員の坂下議員に質疑を行い審査しました。

問 請願の提出がなぜこの時期になったのか。

答 56病床がなくなってしまうことは大変影響が大きいため、市への働きかけを行うためには議会の賛同が必要と考え6月定例会のこの時期になった。

問 建物の老朽化に加え医師・介護職員の確保が難しいことや、収益が見込めず将来的な見通しが立たないと判断し閉院を決定された。そうした存続の意思がないことを確認している中で、市の財政支援は現実的ではないのではないか。それよりも今後の介護施設や在宅介護を受け入れやすくするような環境を作ることには税金を使うことがより現実的ではないか。

答 市の財政を投入して続けることができるのなら、新たに何かを作るよりもあの場所できないかと考えてのことである。今回のこの請願の内容は、高山厚生病院に限定しているが、介護医療院を含め、今後の医療構想を考えることとは相反するものでなく、どちらも進んでほしいと考える。

その後、委員間討議では、多くの署名が集まったことや多くの人が介護の問題で不安を抱えていることをしっかり受け止めて、委員会として、今後、地域医療をどう進めていくのかを考えていくべきであるとの意見がありました。

以上のような審査の結果、請願第1号については、賛成少数で不採択とすべきものと決し、本会議において不採択と決しました。

6月定例会 上程議案一覧表

6月定例会に上程された議案及び議決結果は次のとおりです。

市長提出議案

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
報第5号	損害賠償の額の決定の専決処分について	—	報告
報第6号	継続費繰越計算書（一般会計）について	—	報告
報第7号	繰越明許費繰越計算書（一般会計）について	—	報告
報第8号	事故繰越し繰越計算書（一般会計）について	—	報告
報第9号	繰越計算書（水道事業会計）について	—	報告
報第10号	繰越計算書（下水道事業会計）について	—	報告
議第54号	高山市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第55号	高山市税条例の一部を改正する条例について	総務環境	原案可決
議第56号	高山市保健センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	福祉文教	原案可決
議第57号	財産（消防ポンプ自動車）の取得について	総務環境	原案可決
議第58号	市道路線の変更について	産業建設	原案可決
議第59号	令和5年度高山市一般会計補正予算（第2号）	予算決算特別	原案可決
議第60号	令和5年度高山市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）	予算決算特別	原案可決
議第61号 ～ 議第79号	農業委員会委員の任命について	—	同意
議第80号	令和5年度高山市一般会計補正予算（第3号）	予算決算特別	原案可決

請願

議案番号	件名	付託委員会	議決結果
請願第1号	高山厚生病院の存続へ市の積極的な働きかけを求める請願	福祉文教	不採択

議員提出議案

議案番号	件名	上程日	議決結果
発議第6号	特別委員会の設置について	初日	原案可決
発議第7号	特別委員会の設置について	初日	原案可決
発議第8号	特別委員会の設置について	初日	原案可決

6月定例会の議案賛否一覧

6月定例会の提出議案における各議員の賛否は以下のとおりです。
この他の議案においては、いずれも全員一致で可決・同意しました。

	丸山純平	中村匠郎	戸田柳平	益田大輔	坂下美千代	平戸芳文	片野晶子	水野千恵子	石原正裕	西本泰輝	伊東寿充	西田稔	沼津光夫	榎隆司	山腰恵一	渡辺甚一	岩垣和彦	中箴博之	倉田博之	松山篤夫	上嶋希代子	車戸明良	水門義昭	小井戸真人
請願第1号	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●

※「○」は賛成、「●」は反対。水門議長は採決に加わりません。

一般質問

6月定例会では16人の議員が市政に対する一般質問を行いました。
一般質問は、一問一答を基本とし、質問のみで1人40分としています。

小規模農家への支援について

創政・改革クラブ
岩垣和彦



問 担い手や営農組合を取り巻く環境が厳しくなるなかで、小規模農家は条件不利地の農地を維持している。しかし、高齢化や後継者不足から農業機械の更新も出来ず稲作を諦め荒廃農地が増加している。荒廃農地を増加させないためにも農業機械導入支援を考える必要はないか。

答 担い手が担うことが出来ない条件不利な農地については下限面積の緩和などにより利用促進に取り組んできたが、高齢化の進行に加え肥料など資材価格の高騰など経営が厳しいために機械更新もしにくい状況であり営農を諦めざるを得ない農家が出ている。国や県の農業機械導入支援は、事業主体が一定規模以上の耕作面積を営農する必要があり、一定の規模拡大を必要とするなど要件のハードルが高いため小規模農家が使いにくい状況。市では小規模農家を含む農家への農業機械導入支援について、農家の実情を踏まえた事業採択になるよう国・県へ要件緩和を要望するとともに、市としても具体的な支援を検討する。

医療的ケア児の自宅療養
—どうかみんながハッピーで—

創政・改革クラブ
倉田博之



問 人工呼吸器装着の超重症医療的ケア児も、在宅への移行を国は勧めている。愛児との自宅生活はうれしい一方、壊れやすい命を昼夜分かつ家族だけで見守るのは、レスパイトなしでは不可能。飛騨圏域に該当児童の利用可能な環境はなく、整備は市の責務と考える。また、福祉車両の無料貸出を制度化できないか。

答 三市一村連携でショート病床確保に動く。車両無料貸出制度も検討する。



いじめの実態について

無会派
片野晶子



問 令和4年度のいじめの認知件数は652件である。高山市教育委員会では「高山市いじめ防止基本方針」を出しているが、この状況では児童生徒が安心して学べていないと考える。子どもたちに何が起きていると捉えているか。

答 社会の変化、コロナの影響で大きなストレスを抱えており、他者への攻撃性を生む要因になっている可能性がある。また状況から人間関係づくりの未熟さが伺える。児童生徒にとって魅力ある学校・学級づくりやいじめを許さない学校風土づくりを推進していく。



埋立処分地の残余年数と
新埋立地の将来展望は

無会派
小井戸真人



問 第2次埋立処分地は平成17年から供用され、18年が経過している。処分場の残余年数と次期埋立地の将来展望は。

答 令和8年度に新焼却施設が稼働するため、焼却性能の向上等により年間埋立量が減少すると見込んでおり、結果として令和16年度まで埋立が可能となると推計している。残余年数の延伸に向け、更なるごみの減量化、分別の徹底による埋立量の削減及び外部委託等による埋立処分地の延命化を図る。又、新たな埋立処分地の建設候補地の選定に向けた条件の整理等も同時にすすめる。



一般質問

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質するものです。

放課後等デイサービスの支給日数について

日本共産党高山市議団
坂下美千代



問 障がいのある児童・生徒らの自立支援や日常生活の充実、保護者支援のために「放課後等デイサービス」の支給日数は、厚生労働省の通達で原則、月に23日を上限としている。そのため市の日数制限は基本的に外し、子どもや家族の状況に応じた支給日数にすべきではないか。

答 福祉サービスの適正利用と持続可能な福祉サービスの構築の観点から、現在のところ、一定の基準は必要と考えている。「審査委員会」における協議などを踏まえ、子どもや家族の実情に寄り添った適切な制度運用となるよう、引き続き検討していく。



10月閉院となる高山厚生病院の対応について

日本共産党高山市議団
上嶋希代子



問 高山厚生病院を利用されている方の多くは自分の生きる最期は厚生病院とっており家族も強く病院の存続を望まれている。その病院が10月に閉院となり、その時期は迫っている。今後の対応について市長の考えは？

答 高山厚生病院と同様の機能を持つ施設である介護医療院については、当然必要な施設として認識している。10月の閉院に向けて、それがすぐにできるかと言えればかなり困難である。今後、市の医療体制全体の中で1つの大きな柱として位置付けて取り組んでいく。



歴史遺産の保全と活用を複眼的に考えよう！

未来
松山篤夫



問 インバウンド富裕層をターゲットにした観光施策において、今「考古学観光」が注目されている。国府地域には県下最大級の横穴式石室を持つ「こう峠口古墳」等がある。古代人が巨石を用いて築造した石室内の見学などは旅行者に非常に魅力的な体験になる。市の考古学観光に対する考えは。

答 地域における文化財保全の意識高揚といった面においても重要なものであると認識している。遺跡などの多様な地域資源の活用は滞在時間の増による連泊や域内消費の拡大、中心市街地の混雑緩和など多くの利点を有しているため、今後、活用を図っていく。



こう峠口古墳

子どもの権利擁護について

新政たかやま
水野千恵子



問 4月より「こども家庭庁」がスタートし、社会全体で子どもの人権を守る意識が高まってきた。虐待はもっとも許せない行為だが、子どもの心のケア等への市の対応は？

答 「子ども発達支援センター」「母子健康包括支援センター」等と連携を図りながら子どもの様子の見守り、家庭支援に取り組んでいる。地域全体で子育て家庭のサポートができるよう、第三者（アドボケイト）も含め、専門性を有する者が増えるのが望ましいと考える。



一般質問

一般質問は、質問と答弁がかみ合うことで分かりやすく充実した議論となるよう、原則としてあらかじめ通告しておくこととなっています。

持続可能なインフラの維持管理について

新政たかやま

石原正裕



問 人口減少と日本一広い市域におけるインフラの維持管理は、今後の大きな課題となる。スマートフォン等のカメラ機能など、画像（位置情報付き）を活用した、市民の皆様から、インフラ損傷情報を提供いただくシステムを構築する考えは。

答 定期的なパトロールや、市民の皆様からの電話等で損傷状況を把握し、修繕等を行っているが、市道延長も約1860kmに及び、把握に困難な場合がある。情報提供のあり方としてインフラ損傷情報提供システムの構築は業務の効率化を図るうえで有意義と捉える。



一体的に子ども政策を進める新しい仕組みを

新政たかやま

西本泰輝



問 改正児童福祉法では、市区町村は全ての妊産婦、子育て世帯、子どもを一体的に相談支援をする「こども家庭センター」の設置に努めることとしている。市でも現行の組織を見直し、一体的に子ども政策を進める新しい仕組みや体制をつくるべきと考えるが市の見解は。

答 子どもの成長段階や特性に応じた、切れ目のない支援やサービスをわかりやすく一つの窓口で提供しながら、組織に横串を刺した支援が可能となるような体制の整備に向けて、現在、先進都市の事例なども参考にして関係課で具体的な協議を進めている。



神社や史跡などの文化財を守っていこう！

新政たかやま

西田稔



問 新型コロナウイルス感染症の影響により、祭礼行事の存続が危ぶまれたが、関係者の努力により、浦安の舞、獅子舞、鬪鶏楽、雅楽、太々神楽等を含め再開ができてきている。これまで以上に神社や史跡保存会への支援が必要と考えるが市の見解は。

答 伝承芸能保存団体補助金による保存団体への支援を継続する。また民間助成団体が行う助成事業の斡旋、協力、さらには文化庁が行う地域文化財総合活用推進事業（地域伝統行事・民俗芸能等継承基盤整備）を活用し支援をしていきたいと考えている。



中部縦貫自動車道の中間インター決定後は

新政たかやま

渡辺甚一



問 中間インターが出来れば、高山市の東の玄関口となり、市内の渋滞緩和につながり、観光案内や地域の農産物等販売などによって地域の活性化にもつながる。道の駅のような施設も必要と考えるが、調査等していくべきではないか。

答 市内中心部への流入車両の分散による渋滞緩和や緊急搬送の迅速化だけでなく、出入り口周辺が観光の目的の一つとして注目されるよう、地域の皆様からもご意見をいただき、当該地域の活性化につながる検討をしている。拠点施設整備の必要性など、地元の皆様と協力しながら検討していく。



一般質問

QRコードから各議員の一般質問をご覧ください。配信は会議録が調製され次第終了します。(タブレット・スマートフォンに対応。通信料は別途発生します。)

パートナーシップ宣誓
制度の導入について

みんなで未来をつくる会
丸山 純平



問 LGBTQカップル等に対し、自治体が婚姻に相当する関係であると証明書を発行するパートナーシップ宣誓制度。昨年度の市議会において「導入の方向で検討する」と答弁されていたが、具体的な導入時期はいつ頃になるのか。

答 現在、岐阜県でも制度の導入を考えており、県が制度を導入するのであれば優遇措置などもできていくので注視している。なるべく早い時期に導入したいので、庁内でも議論を進めて、県の導入が遅い場合は市が先駆けて導入していきたい。



市職員のメンタルヘルス
について

みんなで未来をつくる会
益田 大輔



問 高山市役所では R4年度に56人の離職者があり、メンタル不調による休職者も増えている。労働力減少時代を迎え、まち全体の人材確保が厳しい中で、職員が健康で安心して働けることができるようメンタルヘルスに取り組み、well-being の視点から人に投資する健康経営を率先して進めるべきではないか。

答 7人の休職者はいずれもメンタル不調であり、市役所のマンパワー不足は市民サービスに影響を及ぼすと自覚している。産業医とも連携し健康経営を進め、まちの模範となるよう政策コーディネーターと連携して業務改善を進めていきたい。



带状疱疹ワクチン接種
費用の公費助成を

高山市議会公明党
山腰 恵一



問 带状疱疹は、加齢や疲労によって免疫力が低下することで発症し激しい痛みを伴う疾患である。予防にはワクチン接種があるが、ワクチンの効果や接種による医療費抑制をどう捉えるのか。また、接種費用の公費助成の考えは。

答 発症予防の効果では、発症が51.3%の減少、神経痛では66.5%の減少との報告がある。発症で苦しむ人においては、高額の治療費を投入して治療するより予防することで医療費抑制につながる。公費助成については、国の動向を注視し他の自治体の状況を把握しながら検討する。



学校給食費の無償化
を!

高山市議会公明党
中箴 博之



問 物価高騰をふまえて安全で美味しい給食を安定して提供するため、給食費の無償化に踏み切る自治体が少しずつ増えてきている。高山市にその考えはないのか。

答 給食費を無償化するためには、物価高騰分も合わせて3億6,270万円という財源が必要になる。当面は現行の給食費3分の1補助を継続するとともに、物価高騰分について保護者負担を軽減するような対応を取っていくが、国で給食費無償化の議論もあるので、その動向を見てあらためて判断したい。



議会運営委員会

議会運営委員会は、議員2名以上で構成する「会派」の代表を委員とし、議会をスムーズに運営するための話し合いを行う委員会です。定例会や臨時会の日程や進行手順、議案審査をどう行うのかなど、意見書についても協議します。事案によっては、1回で結論を出さず各会派へ持ち帰って考えをまとめ再度話し合うなど、慎重に議論します。また議会のあるべき姿を定めた「議会基本条例」に則り議会改革を推進する「議会基本条例推進協議会」の第一分科会も兼務しています。さらには議長からの諮問対応や、幅広く議会内の調整を行うという大切な役割もあり、民主主義の原点的表現が求められる場です。そのため委員会の意思決定は、やむを得ない場合を除きできる限り全会一致に努めることとしていますが、そこには妥協や迎合・偏執や独善とは全く異質の、他者をも理解する互譲の精神が求められます。今期の議会構成は、改選前から強く望んできた社会

の縮図的多様性に一步近づけました。その特性を活かせる運営が今年度の議会運営委員会の目指す姿です。

【会派】議員が活動する単位であり、2名以上で成立する。国政と同様、同一政党の集まりとは限らない。高山市議会では、むしろ政治活動における価値観や、基本的な信条・姿勢をともにする議員の集団となっている。一定程度の会派数は、多様性を表現するべき議会の在り方として健全だと考えられる。



丸山委員 水野委員 中箴委員 伊東委員
上嶋委員 石原副委員長 倉田委員長 松山委員

常任委員会

総務環境委員会

総務環境委員会では、市長公室、総合政策部、総務部、森林・環境政策部、消防本部などの所管を担当し、今年度は支所機能強化、DX活用、森林・環境政策等の調査研究に取り組んでいきます。広大な市域を持つ高山市において公平なサービスが受けられるように同じ課題をもつ自治体の取り組みを研究し、市民に寄り添った政策議論など委員会活動を進めます。



戸田委員 平戸委員 伊東委員 石原委員
上嶋委員 車戸委員長 西田副委員長 岩垣委員

福祉文教委員会

福祉文教委員会では、医療をはじめとする社会福祉の向上や、教育、文化、市民活動など、市民の生活に関わりの深い多くの所管事項を担当しています。政策課題について重要調査項目を設定し、調査研究を進めます。また、少しでも多くの市民に寄り添っていけるよう委員会活動や議案審査に臨んでいきます。



益田委員 倉田委員 小井戸委員 榎委員
山腰委員 沼津委員長 水野副委員長 坂下委員

産業建設委員会

産業建設委員会では、農政部、商工労働部、飛騨高山プロモーション戦略部、建設部、都市政策部、水道部の所管に関する事項を中心に審査をします。高山市の主産業たる観光を始め、商工・農業全般においてしっかりと稼げる地域を作っていくために、市の政策やビジョンを調査します。

また、支所地域を含め広大な面積を誇る高山市において、持続可能なインフラの維持整備は目下の課題です。人口減少社会における人口構造や居住実態の変化を踏まえて、財政面においてもシビアな目線で、中長期的な高山市のインフラのあり方を提言していきます。



中村委員 丸山委員 片野委員 中箴委員
水門委員 渡辺委員長 西本副委員長 松山委員

特別委員会

自治基本条例等及び総合計画に関する特別委員会

議会は政策提言等において、自治体の自治（まちづくり）の方針と基本的ルールを明確に定め、地域特性を活かした個性ある地域づくりを自主的、自律的、持続的に進めることを提言してきました。これに対し田中市長は、「条例設置に取り組む」ことを明言されたことで、条例の基本理念、市民等の権利・責務、市長及び執行機関の責務、自治体運営の原則、住民自治の仕組み等の必要な事項について議員全員で協議する場として特別委員会を設置しました。

また、第八次総合計画は令和6年度までの計画となっており、次期の第九次総合計画策定期間に差し掛かっています。総合計画における基本計画は議決要件となっており、一層進行する人口減少・少子高齢化、労働力不足、予測困難な産業経済、コロナ禍を経ての社会の変革等を踏まえ第九次総合計画に必要な方向性等について議論を重ね、実効性のある計画策定のため、議会の立場から行政側に提言を行う考えです。

産業廃棄物最終処分場建設計画調査特別委員会

荘川町六厩に計画されている産廃処分場建設計画について、客観的な調査を積み上げた上で議会として精度の高い意見表明を行うことを任務とする当委員会を、前期に引き続き6月議会において設置しました。

市民の代弁者として荘川町の皆さんの不安に寄り添うとともに、全市的な課題として市民の皆様の理解を得られるだけの材料・裏づけを提示できるよう機動的に調査を進めてまいります。

高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会

令和5年3月に高山市は「高山駅西地区まちづくり構想」を策定しました。

構想では、高山駅西地区には、橋上駅舎や東西自由通路、JR アンダーパスの整備等により、高山駅を中心とした東西を往来しやすい環境が整いましたが、高山市民文化会館や高山市総合福祉センターなど既存施設の老朽化への対応、商業と調和した住環境の形成が求められているとされています。市民アンケートにおいても駅西地区のまちづくりに対する市民の関心の高さが伺えることから、高山市の今後のまちづくりにおける重要な事業として高山市議会に「高山駅西地区まちづくり構想に関する特別委員会」を設置しました。

クローズアップ定例委員会

高山市議会では、毎月、総務環境委員会、福祉文教委員会、産業建設委員会の3つの常任委員会を開催し、市の重要事項について執行部から協議・報告等を受け議論を行うとともに、市政に関する調査研究活動を行っています。

今回は、4月～7月までの活動の中から、「新火葬場の建設候補地について」の議論の内容をお知らせします。

新火葬場建設事業の検証結果と今後の進め方について

昨年9月、市長が新火葬場建設事業のこれまでの経緯等の検証や課題を整理する方針を表明し、今年2月には所管の福祉文教委員会に検証状況が報告され、5月22日に、新火葬場建設事業の検証結果と今後の進め方について、福祉文教委員会で市側と協議を行いました。

○市の主な検証結果

- ・検討委員会は、十分な議論等を経て、基本構想に定める基本方針を実現するのにふさわしい複数の候補地を市に提案した。
- ・移動距離・時間についてはもう少し重く受け止めるべきであった。
- ・宗教法人が所有する土地であることについては市民の心情への配慮が十分ではなかった。
- ・葬儀の小規模化等、火葬場利用状況の変化に即した施設面積を再試算した結果、9,000㎡から6,500㎡に縮小可能であることがわかった。

○市の検証結果を踏まえた判断

検証結果を踏まえ、現候補地案（丹生川町大萱）を撤回し、現火葬場周辺地域（西洞町）を最有力候補地とする。

○市の最有力候補地（西洞町）の選定理由

- ・市街地の至近に位置している。
- ・施設面積の再試算結果を踏まえると面積不足は解消できる見込みである。
- ・基本構想に定める基本方針に概ね整合する。
- ・現火葬場は、火葬場がある場所として市民に広く浸透している。



高山火葬場

●福祉文教委員会における主な議論

主に以下の論点から多くの質疑を行いました。

- ・候補地選定に長期間を費やしてきた市の責任。
- ・基本構想に定める基本方針との整合。
- ・大萱候補地の住民や検討委員会の皆さんへの対応。
- ・西洞町候補地の住民の皆さんへの対応。
- ・西洞町候補地での建設に係る諸課題（アクセス道路、現施設を稼働しながらの建て替え、景観保全、用地取得など）。

●福祉文教委員会の主な意見

現火葬場周辺地域（西洞町）を最有力候補地とする方向で良いとしましたが、以下の点について十分配慮するよう市側に求めました。

- ・大萱候補地の住民や検討委員会の皆さんに対し、誠意をもって説明責任を果たすこと。
- ・西洞町候補地の住民の皆さんに納得いただけるよう、しっかりとした対応をとること。
- ・西洞町候補地での施設建設に係る課題解決に向け、綿密な検討を行うこと。

政務活動費の報告

政務活動費とは、地方自治法第100条第14項及び第15項の規定に基づき、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として交付されるもので、高山市議会では議会における会派（無会派の場合は個人）に対して、所属議員数に20万円を乗じた額が1年間の交付限度額として交付されます。なお、高山市議会は前もって交付するのではなく、後払い（精算払い）制を採用しています。

令和4年度の政務活動費交付実績は、市議会ホームページで公表しています。

市議会ホームページ
政務活動費へ



議会トピック

北小学校6年生が議会傍聴で“本物にふれる”体験

6月12日、北小学校の6年生122名が、本物にふれる社会科授業として、6月定例会を傍聴しました。午前中に行われた一般質問を4つの班に分かれて順番に傍聴し、傍聴席から、議員と執行部のやり取りを見学しました。また、議会事務局の職員からは市議会の仕組みなどについて説明を受けました。初めて傍聴した児童からは「雰囲気緊張した。」「本物を見ると教科書と違ってすごかった。」といった感想が聞かれました。



学校給食を試食しました

6月22日に議員全員で学校給食を試食しました(費用は個人負担)。高山市学校給食センター(三福寺町)で調理し、担当エリアの小中学校の児童生徒や先生が食べる給食と同じメニューが運搬され、学校給食センター所長から、事前に撮影した調理現場の映像を参考にしながら、調理の流れや食物アレルギー対応、材料の調達方法、経費などについて説明を受けました。今後、学校給食の質の改善や学校給食センターの整備等の議論に活かしていきます。



ぎかいだよりの表紙写真を募集しています

議会広報紙がより身近なものとなるように、市民の皆様から、ぎかいだよりの表紙写真を募集しています。募集要項は、市議会ホームページでも確認できます。応募は、個人に限らず、団体や学校等で撮影いただいたものでも可能です。

◆次号令和5年11月1日発行のぎかいだより第53号の表紙写真の応募締切は令和5年10月2日(月)です。

令和5年 高山市議会 9月定例会日程(案)

開会日	曜日	会 議 内 容		場 所
9/1	金	午前9時30分	本会議(提案説明、質疑、委員会付託)	議 場
5	火	午前10時	一般質問通告締切	
6	水	午前9時30分	常任委員会(議案を付託された委員会)	各委員会室
8	金	午前9時30分	本会議(一般質問)	議 場
11	月	午前9時30分	本会議(一般質問)	議 場
12	火	午前9時30分	本会議(一般質問)	議 場
		本会議終了後	議会運営委員会	全員協議会室
14	木	午前9時30分	総務環境委員会	全員協議会室
15	金	午前9時30分	福祉文教委員会	全員協議会室
19	火	午前9時30分	産業建設委員会	全員協議会室
20	水	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
21	木	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
22	金	午前9時30分	予算決算特別委員会	全員協議会室
26	火	午前9時30分	本会議	議 場

このマークが付いている日はインターネット・ケーブルテレビで中継します。



編集後記



今期より広報広聴委員会は全議員が委員となり、広報・広聴それぞれを部会と位置づけ、構成メンバーを配置した新体制となりました。広報部会では、市民の皆様様に議会活動をより知っていただけるよう、協議を重ねています。

今回のぎかいだよりは、「読みやすく・手に取りやすく」を視点に、デザイン等を更新しました。ご拝読いただきましたら、身近な議員や議会事務局まで、ぜひご感想をお寄せください。

市民の皆様様に「伝わる議会」を目指して、これからも広報広聴活動の充実に努めていきます。

